

2021年度Sセメスター 法学政治学研究所・法学部の講義科目の実施形態について

1. 2021年度Sセメスターにおける法学政治学研究所・法学部の授業のうち、講義科目の実施方法については、下記の一覧表を参照すること。
2. 「対面またはハイブリッド形式」の詳細については、連絡事項をあわせて確認すること。
3. 講義科目ごとの情報連絡手段については、4月1日（木）頃までに別途掲示する予定である。

担当教員名	講義科目名	オンライン形式	対面またはハイブリッド形式	連絡事項
穴戸常寿	基本科目憲法A	○		
小島慎司	基本科目憲法B	○		オンデマンド型の事前視聴教材とリアルタイム型での討論を組み合わせて進める（進め方の詳細はTKCを参照）。特にグループ討論はカメラをONにして顔を合わせて行う。
阿部裕介	基本科目民法1 AB	○		オンライン（オンデマンド型）で実施予定である。詳細はTKCで告知する。
水津太郎	基本科目民法2 AB	○		授業はオンラインで実施するが、月に1回程度、対面のオフィスアワーを実施する予定である（参加は任意）。
和田俊憲	基本科目刑法AB	○		毎回、事前にオンデマンド教材を配布するとともに、授業時間は、その一部を使ってオンライン形式による質疑応答等を行います。
新川 麻	リサーチ、ライティング & ドラフティング ①	○		
増田 健一	リサーチ、ライティング & ドラフティング ②	○		
石綿 学	リサーチ、ライティング & ドラフティング ③	○		原則オンライン形式で授業を行う。
波田野晴朗	リサーチ、ライティング & ドラフティング ④	○		
穴戸常寿	上級憲法①②	○		
小島慎司	上級憲法③④	○		オンデマンド型の事前視聴教材とリアルタイム型での討論を組み合わせて進める（進め方の詳細はTKCを参照）。特にグループ討論はカメラをONにして顔を合わせて行う。
小島慎司 巽智彦	公法訴訟システム①②	○		全てオンライン形式での実施とする。詳細は各教員から連絡する。前半については、オンデマンド型の事前視聴教材とリアルタイム型での討論を組み合わせて進める（進め方の詳細はTKCを参照）。特にグループ討論はカメラをONにして顔を合わせて行う。
石川健治 斎藤誠	公法訴訟システム③④	○		斎藤担当部分については、同時配信方式で時間割記載時間に行う予定である。詳細は追ってTKCで連絡する。
沖野真巳	上級民法2①	○		リアルタイム・オンライン形式で行い、その録画・録音データを一定期間利用可能とする。質問は授業時間終了後にそのまま受け付けるほか、受講生の希望により質問タイムを別途設ける。
森田修	上級民法2②	○		リアルタイム型のオンラインで実施する。出欠はリアルタイム接続の事実を基準として判定する。録画データを履修者に供給する。
中原太郎	上級民法2③	○		
森田宏樹	上級民法2④	○		授業はすべてオンライン形式で行う。
米村滋人	民事系判例研究①	○		
佐藤 正謙	民事系判例研究②	○		
原 悦子	民事系判例研究③	○		少なくとも当面はオンラインで実施する。月に1回程度、対面のオフィスアワーを実施する予定である（参加は任意）。
作田寛之	民事系判例研究④	○		少なくとも当面はオンラインで実施する。
垣内秀介	上級民事訴訟法①		○	学生を3グループに分けて、グループごとに対面での出席を求め、他のグループの学生はオンラインでの出席を求める。各学生の事情に応じて柔軟に調整するので、対面での参加が困難な学生は、事前に担当教員に申し出ること。
菱田雄郷	上級民事訴訟法②	○		
松下淳一	上級民事訴訟法③④	○	○	授業の前半はオンライン形式のみで実施する。授業を3～4回実施した段階で受講生にハイブリッド形式の授業の実施についてアンケートを実施して、3・4組を通じて希望が多いようであれば、後半は希望する学生が対面で参加するハイブリッド形式の授業を実施する。
成瀬 剛	上級刑事訴訟法①②	○		授業はオンラインで実施するが、月に1回程度、対面のオフィスアワーを実施する予定である（参加は任意）。

担当教員名	講義科目名	オンライン形式	対面またはハイブリッド形式	連絡事項
川出敏裕	上級刑事訴訟法③	○	○	オンライン形式とハイブリッド形式を併用する。第1週の月曜日（4月5日）4限の授業、及び金曜日1限の授業はオンラインで、第2週以降の月曜日4限の授業は、ハイブリッド形式で行う。ハイブリッド形式は、学生を3グループに分けて、グループごとに対面での出席を求める。対面での参加が困難な学生は、初回の授業後に担当教員に申し出ること。
川出敏裕	上級刑事訴訟法④	○	○	オンライン形式とハイブリッド形式を併用する。第1週の金曜日（4月9日）4限の授業、及び月曜日2限の授業はオンラインで、第2週以降の金曜日4限の授業は、ハイブリッド形式で行う。ハイブリッド形式は、学生を3グループに分けて、グループごとに対面での出席を求める。対面での参加が困難な学生は、初回の授業後に担当教員に申し出ること。
溜箭将之	英米法総論	○		
大淵哲也	知的財産法	○		原則としてオンラインのみを予定しているが、学生の強い要望があればどこかで1回くらい対面も検討する。
田村善之	知的財産法	○		録画配信で行います。
原田央	国際私法	○		授業はオンラインでZoomを用いて行い、資料配布・連絡等には、Google Classroom, Google Driveを用いる予定です。詳細についてはITC-LMSで確認の上、初回授業に必ず出席してください。
白石忠志	経済法		○	対面か遠隔かを学生が毎回選び、いずれでも同じように出席・貢献できる授業を目指します。対面・遠隔のいずれで出席したかを成績評価において考慮することは、ありません。対面参加可能人数に上限があるため、毎回、対面参加できる学生を事前に決めることとなります。詳細はScrapboxで知らせます。ScrapboxへのリンクはITC-LMSにも掲げています。
神山弘行 佐藤修二	国際租税法	○		
伊藤一頼	国際経済法	○		
寺谷広司	国際人権法	○		
浅香吉幹	現代アメリカ法2		○	対面形式。対面での実習が不可欠であるため、対面での参加が可能な者に限り、履修を検討されたい。初回の授業から、対面で実施する予定である。
伊藤洋一	ヨーロッパ法	○		
高見澤 磨	現代中国法	○		
瀧川裕英	現代法哲学	○	○	オンラインを基本とするが、履修者の人数・要望等によっては対面での実施を検討する。
新田一郎・和仁陽	法制史2	○		zoomにて開講する
岩瀬博太郎	法医学	○		ZOOMを用いた講義を実施する予定です。
中谷和弘 大塚直 桑原勇進	環境法	○		各種連絡はICT LMSにおいて行う予定。
沖野真巳 後藤元	信託法	○		授業は全てオンライン形式で実施する。リアルタイムでの視聴を原則としつつ、録画したものを講義後一定期間視聴可能とする。質問は講義終了後またはITC-LMSにおいて受け付ける。
菱田雄郷	民事執行・保全法	○		
神作裕之 飯田秀総	金融商品取引法	○		
品川しのぶ	少年非行と法	○	○	原則リアルタイム・オンライン形式で行うが、外部講師による講演のうち3回は、希望者について対面で参加する、ハイブリッド形式で行う。なお、対面参加可能人数に上限があるため、希望講義全てに対面参加できないこともある。
古田啓昌 赤川圭	国際民事訴訟法	○	○	少なくとも前半（第1回から第6回）はオンライン形式で実施する。後半（第7回から第13回）は、今後のコロナウィルスの感染状況や受講者の希望を踏まえて、おって判断する。
佐藤修二	租税と諸法	○		

* 事前に履修登録を必要とする講義科目については、既に授業実施方法を掲示済みであり、上記一覧表には掲載していない。